

## 平成28年度第1回福祉のまちづくり推進協議会 議事録

日時 平成28年10月13日(木) 10:00～11:30

場所 プリムローズ有朋 地下1階 カトレア

### 配布資料

平成28年度第1回さいたま市福祉のまちづくり推進協議会 次第

平成28年度さいたま市福祉のまちづくり推進協議会 委員名簿

平成28年度第1回さいたま市福祉のまちづくり推進協議会 席次表

資料1 委員の指名(案)について

資料2 福祉のまちづくり推進協議会について

資料3 バリアフリー専門部会について

資料4-1 モデル地区推進部会について

資料4-2 モデル地区推進事業について

資料5 車いす利用者用駐車施設の青色塗装について

資料6 心のバリアフリー促進啓発事業について

参考資料 条例、指針及び関連計画について

### 出席者(敬称略・五十音順)

相沢 興	国土交通省関東地方整備局 大宮国道事務所
新井 文夫	埼玉県警察本部 交通部交通規制課
大貫 一博	さいたま市建設局建築部
小川 和茂	NPO法人さいたま市視覚障害者福祉協会
加藤 利雄	さいたま商工会議所 総務・会員サービス部
金川 新吾	一般社団法人埼玉県バス協会

木次 智子	公募委員
鯨井 三千代	一般社団法人さいたま市手をつなぐ育成会
國松 公造	NPO法人埼玉県障害者協議会
久保田 章	さいたま市教育委員会事務局管理部
小島 正男	さいたま市建設局土木部
作山 康	芝浦工業大学 システム理工学部環境システム学科
清水 恒男	さいたま市保健福祉局福祉部
鈴木 英善	公募委員
野口 祐子	聖学院大学 人間福祉学部人間福祉学科
橋本 健二	一般社団法人埼玉県建築士事務所協会
長谷川 和弘	公募委員
平林 彰	障害者（児）の生活と権利を守るさいたま市民の会
町田 健一	さいたま市聴覚障害者協会
三須 亜由美	一般社団法人さいたま市私立保育園協会
湊 一成	東武鉄道株式会社 鉄道事業本部 施設部 建築土木課
望月 健介	さいたま市都市局都市計画部
若林 祥文	都市づくりNPOさいたま

傍聴人

0人

## 【内容】

### 1 開会

### 2 会長及び副会長の選任

### 3 部会委員の配属

#### 4 概要説明

##### (1)福祉のまちづくり推進協議会について

事務局 資料2の説明(省略)

#### 5 報告事項

##### (1)バリアフリー専門部会について

事務局 資料3の説明(省略)

##### (2)モデル地区推進部会について

事務局 資料4の説明(省略)

若林委員 子ども達もさることながら、支援していただいた障害者の方たちなどの熱意が良かった。また、神田小学校については平林委員の地域の住まいでもあり、身近なお話もしていただいた。今年度の事業も始まっており、昨年度と比べ改善点もあるので良い成果がでるのではないかと考えている。

作山会長 前回ではもっと何か所でできないかという意見もあったが、このプログラムは綿密で相当大変な事業でもある。本来は何か所でやりたいが、人とパワーが必要になるため、年に1回の実施が実態となっている。小学校も近年忙しく、総合学習の時間も英語などの要請が強く、モデル地区推進事業を受け入れてくれる学校が中々ないと伺っている。そのため、年に1箇所ではあるが徐々に進めていると伺っている。

平林委員 これまでのまち歩きでは繁華街を中心にやってきたことから、神田小学校に決まったとき、「あんな閑散なところでやってどうするのだろうか」というのが第一印象だった。実際回ってみると、こういう所こそまち歩きが必要で、地域の方にも知っていただき意識を高めることが重要。その点では意義があった。しかし、もう少し保護者や自治会関係者など地域の方との意見交換ができれば良かったのではないかと。学校も忙しいとは思いますが、心のバリアフリーを重点に置くなら、地域の方との交流が大事になると思う。

長谷川委員 資料4-1は今年度の活動に対する説明になっていると思う。一方、参考資料の推進指針P18には「第3期(平成27年度から平成31年度)については、地域の自治会、民生委員・児童委員、PTA、保護者、地区社会福祉協議会、NPO等に対して働きかけを強化し、よりモデル地区推進事業を拡大する」と記載されている。これは正に平林委員がおっしゃられた各学習の取組が、学校での枠組みに囚われているのではないかと。私も各学習に参加しているが、学校にとどまっている感が強いのではないかと。ところが推進指針では学校の枠を飛び出

して、地域の枠に出ていこうよということが強く謳われているのではないか。これが一番重要なポイントであると思う。これをやっていくにはパワーが必要で、そのための仕掛け、戦略が必要になる。それがないと失敗することは目に見えているので、学校の枠をいかに飛び出し、地域に広げていくのか、その考えを聞かせてほしい。

事務局 委員ご指摘のとおり、推進指針にはモデル地区推進事業を行うにあたり、子どもと大人との意見交換によるスパイラルアップが重要となる。これまでも学校を中心として事業を進めてきたが、自治会、民生委員・児童委員、PTA、保護者、地区社会福祉協議会、NPO等地域の方には声掛けにとどまっているが、地域ぐるみでの取組が心のバリアフリーに重要となってくる。枠は超えていないが、まずは参加をいただくことから始めていきたいと思っている。

長谷川委員 答えとしては正直心もとないとは思っている。地域に広がる体制作りも含め、核づくりをどうするか、学校でいいのか、公民館の活用はないのか検討いただければ。

## 2 議事

### (1)平成28年度モデル地区推進事業について

事務局 資料1～2の説明(省略)

若林部会長 事務局の説明について何かご意見等がありますか。

川津委員 資料2ふれあい学習について、中央の表の道具という欄が「聴覚」は空欄となっています。昨年、提案させていただきましたが、聴覚障害についての学習においては、例えば聴覚障害者の方とはどのようにコミュニケーションをとるのかといったミニ講演をさせていただき、その後、手話の指導をするといった内容にする予定です。その際にはパワーポイントを使用しますのでパソコンを使います。それから「お知らせランプ」といったものを持参します。また手話の単語について、絵カードを活用して学習します。もし、パソコンを学校で準備できないようであれば、持参します。

若林部会長 パソコンについては、事務局の方で確認をお願いします。

事務局 学校からは、テレビやDVD デッキ、パソコンは準備いただけることを確認しておりますが、数に限りがありますので、持参いただけると助かります。

若林部会長 具体的には、今後、連絡を取り合い、今の提案は進めていくということでよいか。

事務局 はい。

若林部会長 他にご意見等いかがでしょうか。

若林部会長 意見等ないようですので、事務局から次の説明をお願いします。

事務局 資料3～4の説明(省略)

若林部会長 事務局の説明について何かご意見等がありますか。

また、事務局からは各団体から当日2名以上の講師の依頼がありましたが、いかがでしょうか。

平林委員 講師については、まだ分かりません。

若林部会長 そのようなご懸念等もあれば、併せてお願いいたします。

小川委員 講師の件につきましては、声をかけておりますので大丈夫です。

星野委員 私どもも大丈夫です。

川津委員 講師の件につきましては、2人以上の出席を調整させていただきます。

若林部会長 他にご意見等がありますか。

平林委員 資料3の活動内容について、車いす体験は2つありますが、それぞれに講師が付くということか。

事務局 各コースにおいて、児童の皆に体験してもらうため、少数のグループで実施したいと考えており、前を歩くグループと後ろを歩くグループの2つに分けて行う予定です。講師の方には、それぞれのグループに付いていただきたいと考えております。

若林部会長 他にご意見等がありますか。

川津委員 資料4について、コース①とコース②には、実線と点線があるのはどういうことなのか。

事務局 それぞれのコースで右回りと左回りで歩いていただくことを表しております。

川津委員 分かりました。また、それぞれのコースのポイントは何か。例えば、車いすでの段差やカーブミラー等のチェックポイントを説明し、子供たちもそれを意識して歩くことが必要だと思いません。

事務局 それぞれのコースについて、カーブミラーがあることを確認して設定しています。コース①のポイントとしては、押しボタン式の信号が音声対応はしていない、歩道の狭いところや排水溝蓋が大きな網目であったりするところがあります。またコース②については、全体的に道路の勾配や、ひび割れがあり段差がありますので、車いすや高齢者体験を行うと新たな気づきがあるのではないかと考えております。

当日は、資料にそのような気づきのポイントを追加しまして、児童に説明しながら実施したい

と思います。

- 平林委員 当日は、各コースに学校の先生も付かれるのか。
- 事務局 学校の先生にも付いていただく予定です。
- 平林委員 私は、前回の神田小学校に参加しましたが、子供たちは実際に歩き始めると車いすを押すことに夢中になり、チェックポイントに来ても、そのまま通過してしまうことが見受けられ、講師の方が説明をしたとしても、グループ全体に伝わったのか疑問があった。チェックポイントに来たら、各コースの先生に説明をしてもらうよう協力をいただくようにした方がよい。
- 事務局 学校の先生とはきちんと調整させていただきたいと思います。また先生だけでなく、事務局職員も含め、しっかり行っていきたいと思います。
- 船戸  
(事業団) 当日、スタッフとして参加させていただきますが、2点程確認します。1点目は先生の立ち位置について、熱心であったり関心があまりなかったり、毎回バラバラであります。先生にはコーディネートの役割をしてもらいつつ、自分たちも体験するという姿勢で参加するものとして、調整をお願いしたい。もう1点は、事前にチェックリストを使って気づきの入口を作っています。大変よいことだと思いますが、事前に詰め込み過ぎるとシナリオが出来てしまうので、あまり詰め込み過ぎず、普段何気なく歩いている通学路でも当事者の方々と歩くと些細なことも問題になるということに、気づくということを体験していただきたいと思いますので、そのような視点で臨んでいただきたいと思います。
- 事務局 1点目の先生の立ち位置について、今回、学校との打ち合わせにおいては、先生には熱心に対応いただいているところです。実施計画や目的・ねらい等の資料作成についても、学校の方で作成していただいています。今後の学校との打ち合わせにおきまして、先生には改めてコーディネーターの役割等をお願いしたいと思います。2点目について、事前にあまり詰め込み過ぎず、普段歩いている通学路等において当事者の方と歩くことによって、ギャップに気づき、これをきっかけに色々なことに気づいていけるような学習にしていきたいと思います。
- 若林部会長 ポイントとしては先生も一緒に学びましょうという姿勢で臨んでいただけると子供たちも色々発見もあるのかなと思います。また、事前に枠を与え過ぎないようにしていければよいかと思います。
- 若林部会長 他に意見等がありますか。
- 若林部会長 意見等ないようですので、事務局から次の説明をお願いします。
- 事務局 資料5の説明(省略)
- 若林部会長 自己学習のフォローアップについては、今回、初めての試みだが具体的な内容や日程は、こ

れから決めていくのか。

事務局 はい。現在、学校との打ち合わせでは、5つの学習それぞれについて実施していきたいと考えております。また、具体的な内容・日程は今後、お知らせさせていただきたいと思います。

若林部会長 事務局の説明について何かご意見等がありますか。

平林委員 昨年、神田小学校のまち歩きのコースを見たときに、私自身、普段通っている道なので、このような道を歩いてどうするのかと思っていました。まち歩き点検というと市街地で不特定多数の方が多く利用する場所を中心に行っており、そのような場所で行うイメージであったりましたが、実際に昨年、学校の周りを歩いてみて、日常的に地元の方が使う道で、危なそうなところや穴があいているところがあり、自分の住んでいるまちをどうするかと考えることが、まちづくりの中においては大事なことなのだと私自身が気づかされたところです。そういった点では、このような取組は大事だと思いますのでよろしくお願ひしたいと思います。

星委員 私も昨年参加させていただき、平林委員がいうように、普段何気なく使用している道で、私自身、新たにいろいろと気づかされたところです。ご議論いただいている内容を調整していただき実施してもらいたい。

事務局 今回の植水小学校につきましても、繁華街ではありませんが、普段使用している道でも新たに様々な気づきがあることを期待して実施したいと思いますので、委員の皆様をはじめ、皆様にご協力をいただきながら実施してまいりたい。

## (2)その他

若林部会長 議事の(2)その他 ということで、何かご意見等ございましたらお願いします。

若林部会長 ないようであれば、事務局から連絡事項等お願いします。

事務局 事業の実施にあたりまして、委員の皆様、講師の皆様のご協力をいただきまして、より良いものにして行きたいと思いますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

事務局からは以上です。

若林部会長 それでは、最後に、現在の委員の任期が満了となりますので、皆様から一言いただきたいと思ひます。

川津委員 6年間担当させていただきました。色々な調整も大変でしたが、良い経験ができたと思ひます。今後は新しい委員に引き継いでいきたいと思ひます。この6年間で少しずつ様子が変わって、子供たちも新しい気づき、発見があったと思ひます。これから、まだまだ浸透していかなければいけないと思ひます。6年間ありがとうございました。

- 平林委員 私は、この他にもまちづくり関係で都市部局での委員等をしておりますが、諮問機関の任期についてガイドラインがあるようです。なかなか後任が見つからないので、その場合には再任について特例を認めることもお願いしたい。
- 三橋委員 私は2年やらせていただいてやっと事業内容など理解しました。ここでの成果というものが、なかなか見えないと感じることもありますので成果を見えるようにしていただきたい。
- 小川委員 1期やらせていただいたが、取組の姿勢が良いと感じました。先生の姿勢や子供たちの意気込みが明るくて素晴らしい。その他としては、学校の事前学習において、色々と質問がありますが、我々が望んでいる請願等の内容を学校に提供してもよいか気になっているところです。
- 星野委員 前任から引き継ぎ、5校の小中学校で事業に参加しました。始めは学習の中に「知的」という内容がありませんでしたが、その後、知的障害を取り入れていただき、ひろく正しく理解していただくきっかけを作っていただいたことに深く感謝しております。私たちは子供を守っていくためには親が一生懸命活動していかなければならない団体です。きちんと理解していただくまでには、まだ時間はかかると思いますが、これからも頑張って活動していきたいと思えます。ここで経験したことは勉強になりました。ありがとうございます。
- 星委員 公募委員ということで参加させていただきました。今日の議論もそうですが、大宮北小学校から始まり、そこでの反省点や不足していた点を次に生かすといった取組の姿勢が非常に良いと感じました。微力ではありましたが、いろいろやらせていただきまして、自分自身も大変勉強になりました。どうもありがとうございました。
- 若林部会長 私の感想としましては、事務局が大変良くやっけていただいていると感じました。また、皆さんのそれぞれの団体の熱心さが素晴らしいと思っております。毎回、色々な発見があり大変勉強になる機会を与えていただきました。本当にありがとうございました。

### 3 閉会

以上